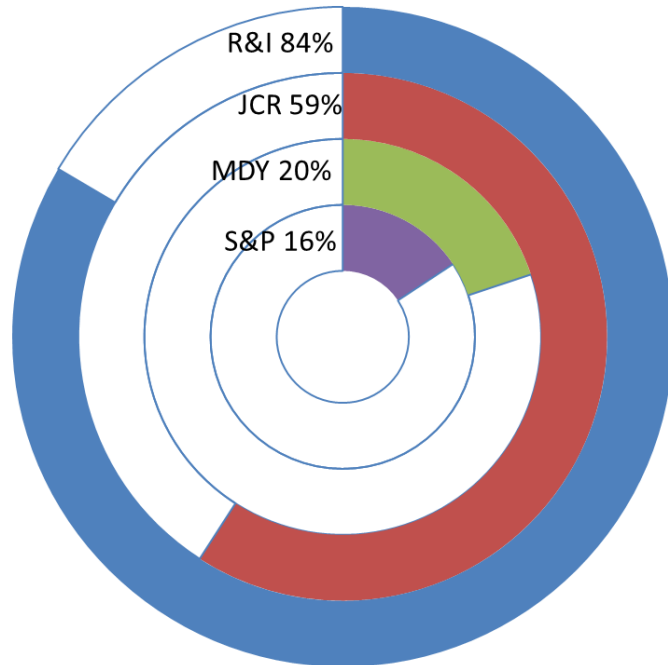


格付投資情報センター（R&I）について

- 設立
 - 1979年 日本公社債研究所（JBRI）設立
 - 1985年 日本インベスターズサービス（NIS）設立
 - 1998年 JBRIとNISが合併 R&I発足
- 株主
 - 日本経済新聞社グループ 過半
 - その他（主に金融機関）
- 主要業務
 - 格付事業、投資評価事業、情報事業
- 総従業員数
 - 170名（2020年12月末現在）

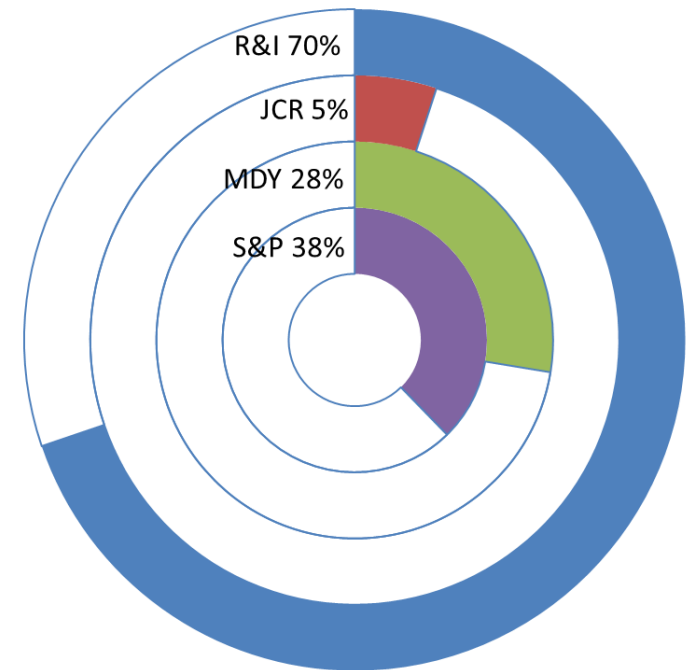
格付カバー率

コーポレートファイナンス
(2020年)



出所：日本証券業協会資料をR&Iが加工

ストラクチャードファイナンス
(2020年度)



出所：SMBC日興証券資料をR&Iが加工

集計対象は、普通社債、CB、財投機関債（除住宅金融支援機構MBS）のうち格付が付与された債券


R&IのESGに関する取り組み

- ・<ESG債の外部評価>
- 2016年9月、グリーンボンドへの外部評価事業を開始。
 - ▶ **日本企業として初**の取組み。格付会社としてはグローバルでMoody's (米) に続き2番目。
- ・<信用格付におけるESG要素の明確化等>
- 2017年12月、国連が主導する責任投資原則 (PRI) に関連する「PRI格付声明 (ESG in Credit Ratings Statement)」に署名した旨を公表。ESG要素の明確化を開始。
- 2019年1月 TCFDへ賛同表明

R&IのESGファイナンス評価のあゆみ

| 日時 | 事象 |
|----------|---|
| 2016年9月 | 日本企業初のグリーンボンド（野村総合研究所）にGA1を付与 |
| 2017年2月 | 2016年サステナブルファイナンス大賞（RIEF）優秀賞 「R&Iグリーンボンドアセスメント手法の開発」 |
| 2017年9月 | 国際資本市場協会（ICMA）のGreen Bond Principlesに加入 |
| 2017年12月 | PRI格付声明への署名 |
| 2018年6月 | 環境省「グリーンボンド発行促進体制支援事業」の登録発行支援者に |
| 2019年3月 | 日本企業初のサステナビリティボンド（アシックス）に外部評価を提供 |
| 2019年4月 | トヨタファイナンスのグリーンボンドを評価 「ESGファイナンス・アワード」（環境省主催）ボンド部門銅賞 |
| 2021年5月 | Climate Bonds Initiative (CBI)認証取得サービス開始 |
| 2021年7月 | 環境省の2021年度モデル事例創出事業の確認機関に選定 |
| 2021年8月 | 経済産業省のトランジション推進の指定外部評価機関に選定 |



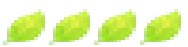
R&Iグリーンボンドアセスメントの特徴

- 総合評価結果を5段階の符号で明記します。
- 個別評価項目別に  の枚数で段階評価します
- モニタリングを実施。当初決められた枠組みに基づく事項が適切に実施されているかを、定期的（原則年1回）に確認します。

<グリーンボンドアセスメントの符号と定義>

| 符号 | 定義 |
|-----|---|
| GA1 | グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高い |
| GA2 | グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度が高い |
| GA3 | グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度が十分である |
| GA4 | グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度がやや低い |
| GA5 | グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度が低い |

<評価例>

| 項目 | 評価 |
|------------------|---|
| 資金の用途 |  |
| プロジェクトの評価と選定プロセス |  |
| 調達資金の管理 |  |
| レポーティング |  |
| 発行体の環境活動 |  |
| 総合評価 | GA1 |